

日本語能力試験N1 「合格体験記」

～本気でやればできないことはない～

中部学院大学短期大学部 幼児教育学科2年生

イ ミヨー チョー

私は、長い時間一人で勉強することがあまり得意ではありません。また、大学で幼児教育を専攻しており、ちょうど一年目の一番忙しい時期だったため、JLPT N1 の準備に多くの時間を使うことができませんでした。しかし、「時間がないから合格できない」という考えは少し違うと思います。もちろん勉強は必要ですが、限られた時間でも合格する方法はあると感じました。

日本に留学している私たちは、毎日先生方の日本語を聞き、授業の中で専門的な語彙に触れることができます。これは特別な教材ではなくても、自然に語彙力や聴解力を伸ばす良い機会です。私はその環境を活かし、日常の中で日本語を意識して学ぶようにしました。

特に私は文字語彙が苦手なので、当日は読解から解き始める方法を取りました。文字語彙の問題は短い時間で急にできるようになるものではありません。知らない語彙が出たら、試験中にすぐ思い出すのはとても難しいと感じました。ですから私は、文字語彙に長い時間を使うよりも、読解など自分が点を取りやすい部分に時間を使うほうが、合格に近づくと考えました。試験の2週間前からは過去問を使い、時間配分の練習を集中して行い、当日も読解から解くようにしました。

この経験を通して、「人間は本気でやればできないことはない」と強く感じました。N1に合格しましたが、学びはこれからも続くと思っています。ここからが私のスタートです。

後輩へのアドバイス

JLPT N1 の勉強は大変ですが、毎日少しずつ日本語に触れることが一番大切だと思います。特に日本で生活している私たちは、授業やアルバイト、友達との会話など、どこでも日本語を練習する機会があります。その環境をうまく使えば、短い時間でも力を伸ばすことができます。

また、自分が得意な部分でできるだけ点を取ることも、合格への大事な方法です。過

去問を使って時間配分をよく考え、自分に合った解き方を見つけてください。

最後に、勉強は一日で上手になるものではありません。あせらず、毎日少しでも日本語を読む、聞く、使う時間を作ることが大切です。本気で続ければ、必ず力になります。後輩のみなさんも、自分のペースで頑張ってください。